



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東
コード番号 7453 URL <https://www.ryohin-keikaku.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堂前 宣夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 堀口 健太 TEL 03-3989-5972
四半期報告書提出予定日 2024年1月15日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト向け）

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	162,913	19.0	13,882	176.4	14,288	161.6	9,801	151.6
2023年8月期第1四半期	136,948	11.4	5,021	△54.9	5,461	△53.5	3,895	△50.3

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 13,911百万円（-%） 2023年8月期第1四半期 △60百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	37.07	36.99
2023年8月期第1四半期	14.77	14.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期第1四半期	470,740	276,126	57.8	1,029.16
2023年8月期	453,715	267,446	58.1	997.13

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 272,224百万円 2023年8月期 263,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年8月期の連結業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	640,000	10.1	48,000	44.9	46,000	27.2	33,000	49.6	124.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名 ー）、除外 ー社（社名 ー）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
詳細は【添付資料】P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	280,780,000株	2023年8月期	280,780,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	16,268,516株	2023年8月期	16,421,638株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	264,405,156株	2023年8月期1Q	263,777,772株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、経済活動は緩やかに正常化が進んだ一方、世界的な資源価格の高騰や金融引き締めに伴う海外景気の下振れにより、依然として国内外における経済の先行きは不透明な状態が続いています。また、円安の進行や原材料価格、エネルギーコストの上昇に伴う生活必需品の値上げも相次いでおり、消費者の節約志向が一層強まっています。

このような状況の中、当社グループは、第二創業にあたり、「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」を考えた商品、サービス、店舗、活動を通じて「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献することを企業理念と定め、以下に記載する二つの使命を果たすべく事業展開を進めました。

第一の使命は、日常生活の基本商品群を誠実な品質と倫理的な視点から開発し、使うことで社会を良くする商品を、手に取りやすい価格で提供すること、そして第二の使命は、店舗は各地域のコミュニティセンターとしての役割を持ち、地域の皆さまと課題や価値観を共有し、共に地域課題に取り組み、地域への良いインパクトを実現することです。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりであります。

営業収益	1,629億13百万円(前年同期比19.0%増)
営業利益	138億82百万円(前年同期比176.4%増)
経常利益	142億88百万円(前年同期比161.6%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	98億1百万円(前年同期比151.6%増)

営業収益は、新規出店に伴う店舗数の増加、および国内外の既存店売上が堅調に推移したことで、増収となりました。国内の価格改定に伴い、営業総利益率の改善が進み、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はいずれも大幅な増益となりました。

また、当第1四半期末における無印良品(ライセンスストアを含む)の店舗数は国内外計1,230店舗(国内587店舗、海外643店舗)となり、前期末に比べ42店舗増加しました。国内では、郊外の生活圏への出店を中心に28店舗を出店したほか、東西の旗艦店である「無印良品 銀座」、「無印良品 グランフロント大阪」を全面改装するとともに、「無印良品 新宿靖国通り」を衣服特化店としてリニューアルオープンしました。海外では、中国大陸、香港、タイ、マレーシア等に20店舗を出店しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。なお、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っています。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメントの利益又は損失の算定方法により組み替えた数値で比較分析しています。

① 国内事業

国内事業における当第1四半期連結累計期間の営業収益は976億71百万円(前年同期比19.4%増)、セグメント利益は99億77百万円(同146.4%増)と、増収増益となりました。

営業収益は、会員向けセール「無印良品週間」(2023年10月27日～11月6日)の効果に加え、生活圏への出店強化が寄与し、増収となりました。また、2023年1月から2月にかけて実施した一部商品の価格改定に伴い、営業総利益率の改善が進み、大幅な増益となりました。

② 東アジア事業

東アジア事業における当第1四半期連結累計期間の営業収益は464億78百万円(前年同期比19.2%増)、セグメント利益は84億99百万円(同39.7%増)と、増収増益となりました。

中国大陸におきまして、前年同時期においてロックダウンに伴う店舗休業等による影響があったことから、営業収益は増収となりました。値下げの抑制や現地開発商品の展開強化に伴い、営業総利益率が改善し、増益となりました。そのほか、台湾、香港、韓国も増収増益となりました。

③ 東南アジア・オセアニア事業

東南アジア・オセアニア事業における当第1四半期連結累計期間の営業収益は85億75百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益は8億9百万円(同10.9%減)と、増収減益となりました。

営業収益は、タイ、マレーシア、ベトナムに出店するなど、新規出店に伴う店舗数の増加により、増収となりました。シンガポールでは収益が伸び悩み、セグメント利益は前年実績を下回りました。

④ 欧米事業

欧米事業における当第1四半期連結累計期間の営業収益は101億87百万円(前年同期比14.5%増)、セグメント利益は11億52百万円(同195.5%増)と、増収増益となりました。

北米においては、店舗運営力の向上、経営体制の強化に努めたほか、欧州においては、経営資源を集中させるため、不採算店舗を閉鎖するなど、収益基盤の強化を進めました。

[ESGの取り組み]

創業時から変わらない「社会や人の役に立つ」という根本方針のもと、第二創業においても、ESG経営のトップランナーを目指し、提供する商品やサービス、地域に根差す店舗を軸とした活動を通じて、資源循環型・自然共生型の社会、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを進めています。

・商品におけるESG：

未来に向けた生活や商品の在り方を考え、循環可能な商品の開発、資源を有効活用した商品の開発を推進しています。9月には再生ウール、再生ポリエステルなどを使った秋冬用の衣服アイテムの展開を拡大しました。また、10月からは再生ポリエステルを活用したスリッパや、当社製品「あたたかファイバー厚手毛布」の製造過程でついた色ムラや傷・汚れの部分を裁断し、綺麗な部分を活用して作ったスナップ付きの肩掛けを販売しました。

・事業活動でのESG：

岐阜県可児市に11月23日に「無印良品 ヨシヅヤ可児」をオープンしました。店内には、可児市が運営する市立図書館の分館が同時オープンしました。一般的な図書館は静寂を求められることから、子育て世代にとっては利用しにくいとの課題があり、その課題解決の一つとしての取り組みです。店舗と図書館の境界がなく、BGMも流れている環境で読み聞かせなどもできる、本と触れ合いながら買い物を楽しめる空間となりました。2023年6月に当社は可児市と地域活性化に関する包括連携協定を締結しています。地域住民が買い物だけでなく、買い物以外でも集える店舗を目指しています。

・土着化活動でのESG：

当社は、地域の皆さまとともに地域課題に取り組むことを目指して2021年9月より地域事業部を設置し、地域の企業や行政と協力してその地域独自の商品開発や地域活性化に努めています。近畿事業部では、10月に滋賀県内の菓子メーカーおよび菓子の生産工程で出る和歌山県産南高梅を漬けたシロップを京都府の加工会社とともに、南高梅のシロップとして3社で共同開発、商品を販売しました。フードロスの観点だけでなく、地域の産業活性化にも寄与しています。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は4,707億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ、170億25百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加45億69百万円、商品の減少33億60百万円、未収入金の増加38億27百万円、その他流動資産の増加50億75百万円および有形固定資産の増加61億68百万円によるものです。

負債は1,946億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ、83億45百万円増加しました。これは主に、買掛金の増加26億3百万円、短期借入金の増加11億70百万円、未払金の増加25億24百万円、未払費用の増加22億34百万円、未払法人税等の減少35億67百万円、その他流動負債の増加13億96百万円および繰延税金負債の増加18億39百万円によるものです。

純資産は2,761億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ、86億79百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加42億77百万円、繰延ヘッジ損益の増加23億98百万円および為替換算調整勘定の増加15億23百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の58.1%から57.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月13日付「2023年8月期 決算短信」にて発表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	115,038	113,388
受取手形及び売掛金	12,323	16,892
商品	133,078	129,717
仕掛品	139	390
貯蔵品	79	69
未収入金	12,894	16,722
その他	19,880	24,955
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	293,412	302,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	79,388	85,029
減価償却累計額	△46,873	△48,324
建物及び構築物(純額)	32,514	36,704
機械装置及び運搬具	5,607	5,753
減価償却累計額	△4,286	△4,332
機械装置及び運搬具(純額)	1,321	1,420
工具、器具及び備品	31,456	33,265
減価償却累計額	△22,532	△23,370
工具、器具及び備品(純額)	8,924	9,895
土地	1,558	1,558
リース資産	94	76
減価償却累計額	△41	△43
リース資産(純額)	52	32
使用権資産	72,537	75,654
減価償却累計額	△35,109	△37,286
使用権資産(純額)	37,428	38,367
建設仮勘定	1,831	1,820
有形固定資産合計	83,630	89,798
無形固定資産		
のれん	759	516
ソフトウェア	26,885	27,612
その他	1,910	1,848
無形固定資産合計	29,555	29,976
投資その他の資産		
投資有価証券	1,713	1,873
繰延税金資産	2,774	2,887
敷金及び保証金	23,846	24,351
その他	18,873	19,827
貸倒引当金	△92	△90
投資その他の資産合計	47,116	48,849
固定資産合計	160,302	168,625
資産合計	453,715	470,740

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,157	37,760
短期借入金	14,775	15,946
1年内返済予定の長期借入金	22,545	21,750
未払金	11,711	14,235
未払費用	9,279	11,514
未払法人税等	8,412	4,845
リース債務	12,343	12,784
賞与引当金	2,028	2,085
役員賞与引当金	205	53
その他	7,010	8,407
流動負債合計	123,470	129,384
固定負債		
長期借入金	11,171	11,171
繰延税金負債	8,462	10,302
リース債務	34,822	34,808
役員退職慰労引当金	31	32
株式給付引当金	1,131	1,187
その他	7,178	7,727
固定負債合計	62,798	65,229
負債合計	186,268	194,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	29,620	29,730
利益剰余金	230,541	234,819
自己株式	△29,920	△29,715
株主資本合計	237,008	241,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	849	959
繰延ヘッジ損益	19,270	21,669
為替換算調整勘定	6,470	7,994
その他の包括利益累計額合計	26,590	30,623
新株予約権	631	610
非支配株主持分	3,216	3,291
純資産合計	267,446	276,126
負債純資産合計	453,715	470,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
営業収益	136,948	162,913
営業原価	74,417	81,077
営業総利益	62,530	81,836
販売費及び一般管理費	57,509	67,954
営業利益	5,021	13,882
営業外収益		
受取利息	76	218
為替差益	579	632
補助金収入	24	15
その他	109	124
営業外収益合計	790	990
営業外費用		
支払利息	344	496
その他	6	88
営業外費用合計	351	584
経常利益	5,461	14,288
特別利益		
固定資産売却益	4	0
リース条件変更利益	0	323
その他	0	70
特別利益合計	5	395
特別損失		
固定資産除却損	33	8
減損損失	—	94
その他	—	15
特別損失合計	33	118
税金等調整前四半期純利益	5,433	14,565
法人税等	1,481	4,714
四半期純利益	3,951	9,850
非支配株主に帰属する四半期純利益	56	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,895	9,801

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益	3,951	9,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142	110
繰延ヘッジ損益	△2,569	2,398
為替換算調整勘定	△1,585	1,551
その他の包括利益合計	△4,011	4,060
四半期包括利益	△60	13,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△163	13,833
非支配株主に係る四半期包括利益	103	77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年9月1日至2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	東南アジ ア・オセア ニア事業	欧米事業	計			
営業収益								
商品・製品売上高	80,917	38,882	7,261	8,864	135,925	—	—	135,925
営業収入	856	118	14	32	1,023	—	—	1,023
顧客との契約から生 じる収益	81,773	39,001	7,276	8,897	136,948	—	—	136,948
外部顧客への売上高	81,773	39,001	7,276	8,897	136,948	—	—	136,948
(1)外部顧客への営業 収益	81,773	39,001	7,276	8,897	136,948	—	—	136,948
(2)セグメント間の内 部営業収益又は振 替高	—	1	—	—	1	139	△140	—
計	81,773	39,002	7,276	8,897	136,949	139	△140	136,948
セグメント利益	4,049	6,085	907	389	11,433	28	△6,439	5,021

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. セグメント利益の調整額△6,439百万円にはセグメント間取引消去4百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△6,444百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年9月1日至2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	東南アジ ア・オセア ニア事業	欧米事業	計			
営業収益								
商品・製品売上高	96,761	46,407	8,557	10,172	161,899	—	—	161,899
営業収入	910	70	17	14	1,013	—	—	1,013
顧客との契約から生 じる収益	97,671	46,478	8,575	10,187	162,913	—	—	162,913
外部顧客への売上高	97,671	46,478	8,575	10,187	162,913	—	—	162,913
(1)外部顧客への営業 収益	97,671	46,478	8,575	10,187	162,913	—	—	162,913
(2)セグメント間の内 部営業収益又は振 替高	0	—	—	—	0	147	△147	—
計	97,672	46,478	8,575	10,187	162,913	147	△147	162,913
セグメント利益	9,977	8,499	809	1,152	20,438	14	△6,570	13,882

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. セグメント利益の調整額△6,570百万円にはセグメント間取引消去0百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△6,570百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、管理費用等の配分方法を見直すとともに、国内事業に配分していた費用のうち一部については、全社費用として「調整額」に含めて開示する方法に変更し、また、未実現利益については、各報告セグメントに商品原価として配分して開示する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメントの利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性がないため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」記載のとおりであります。